

今回のテーマは「**二階の本**」です。
学校図書館には二階と三階があり、普段皆さんがよく利用するカウンターがあるとところが三階です。三階には**9類**(文学、随筆、詩集など)と新刊図書が、二階には**0～8類**と全集があります。二階は館内の階段を使用しないと行けないことなどから利用が低調で、もっと二階の本も読んでもらいたいとの思いで企画しました。ぜひ普段読まないジャンルの本を試してみてください！

編集部長
安道渉



図書委員編集部
図書好日
第12号

J2C 井上優太郎

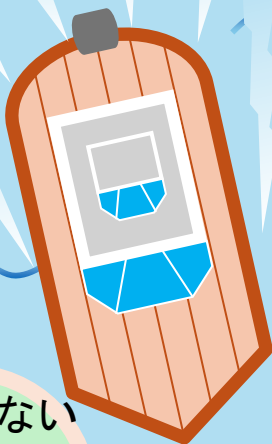
「鳥類学者の半分は、鳥類学ではできてない」
著:川上和人

こんにゃくの歴史に思いを馳せたかと思えば、火山島の調査でサイコパスになり、復元できない生態系を解き明かすために鍾乳洞へ挑む。そんな鳥類学者の日常は、波瀾万丈、ワクワクドキドキとは、言えません！？火山島西之島の継続調査の新発見も、調査に遅刻したことが、功を読んだことも！鳥類学者の日常や考えていることを知りたい人に、おすすめです！

H1G 藤本隆聖

「変な数式美術館」 著:竹内 薫

『変な数式美術館』は、単なる数式の解説に留まらず、その数式を生み出した偉人たちの生涯や業績も紹介されており、数学の歴史を学びながら楽しめる本です。アインシュタインやオイラーなど、名だたる数学者たちの人柄や背景に触れることで、数式に込められた思いや発見の過程がより身近に感じられました。数学が苦手な人でも、興味深く読める内容です。



H1A 北川亜咲

「エモい古語辞典」 著:堀越 英美

今の気持ちに、状況に、じっくりくる言葉が見つからない。そんな時には、古語がヒントになってくれるかもしれません。「遣らずの雨」「可惜夜」など、現代でも使える**1654**の古語がジャンルごとに収録されており、パラパラめくるもよし、じっくり読むも良しの1冊です。「エモい」よりエモーショナルな言葉ときっと出会えます。

H2E 安道渉

「世界地名ルーツ辞典」 著:牧 英夫

タイトルの通り世界中の地名の由来が語られている本です。普段記号としてしか見ていない地名のルーツを知ることができ、愛着がわいてきます。気になったところを流し読みするだけで楽しめるので読書の苦手な方でも気軽に読める点も魅力です。わたしが特に好きな地名は新疆ウイグル自治区の「カシガル」です。ウイグル語で「彩色した家」という意味で、家屋の一階を朱色に染めたことからついたそうです。



J1C 奥田結彩

「なんでもない一日の辞典」 著:山口 謠司

この本は、一日を一時間ごとに切り取り、その時間によって浮かんでくる「ことば」を、日常の場面を描いたイラストとともに紹介しています。例えば、
6:00A.M. → 朝日、まぶしい、もたつく、笑う.....
0:00A.M. → さびしい、不安、眠い、終わり.....
など。また、各時間の初めには音や動き、状態を表すオノマトペも載っていて、その時間のイメージをより詳しく表現することもできます。日記などに役立つ一



H2G 橋口暖 「アフターマン 人類滅亡後の地球を支配する動物世界」

著:ドゥーガル・ディクソン 訳:今泉吉典
人類が滅亡し、5000万年、動物たちは多様な姿かたちへと進化し、地球を支配していた。...という世界に生息する未来の動物たちを、著者が空想に虚像と実像を重ねて凸レンズで覗き込んだと言われているかもしれない一冊だ。泳ぐコウモリから8頭身のウサギまで100種類以上の奇妙な空想動物たちが描かれている(絵がいっぱいというコト)。見た目がキモイ動物が結構いるので注意です。僕のベストオブキモアニマルは表紙のヤツ。

H2F 大日野菜里 「笑わない数学」 編:笑わない数学制作班

数学が分からな過ぎてお困りのあなたへ!!
「素数のおもしろい謎」「無限とはいったい何なのか」「すべての地図は4色で塗分けられる!」などなどを研究の歴史やわかりやすい例えや図で教えます!!数学好きでもあまり好きでない人もこれを読めば数学が好きになること間違いなし!!これを読んでミレニアム問題を解こう!!

H1A 村瀬はづき 「中野京子の西洋奇譚」 著:中野京子

ハーメルンの笛吹き男、霧深い山中の虹を纏う影...ゲーテの「ファウスト」に出てくるファウスト博士は実在したのか、少し気になる様で単なる怪談のようで今だに魅力の消えない21の西洋の奇譚を収録した本です。眠りたく無いような夜に目の冴える体験を!うーんゲーテさんファウスト博士を主人公にカッコ良く仕立て上げ過ぎでは...



H2B 菅原みつき 「おうちで作れる世界のおやつ」 著:本山尚義

お菓子好き必見!!これはただのレシピ本ではありません。なんと全201の国と地域のおかしや屋台フードが、この本につまっているのです!島国のココナッツプリン、アフリカのピリ辛トウモロコシ団子、ヨーロッパのチョコドリンカーなどなど沢山!そして日本からは...?いろんな国の不思議でおいしいそうなおやつは、眺めるだけでワクワクしてきて、幸せな気持ちになります。日本で売っている調味料や材料で代用できるようになっているので、ぜひ休日などに作ってみてください!



H1C 岸本陸玖 わらって、考える!イグ・ノーベル賞ずかん 監修:古澤輝由

みなさん、イグ・ノーベル賞って知っていますか?
イグ・ノーベル賞とは「人々を笑わせ、そして考えさせる」研究に対して送られる賞で、ほぼ毎年日本人が受賞している賞としても知られています。この本では今まで受賞した面白くて、ユニークな研究がイラストとともにわかりやすく紹介されています。たくさんの驚きと発見が凝縮されているおすすめの一冊です!!



是非手に取って、イグ・ノーベル賞の世界を覗いてみてください!!
「働き方は「自分」で決める」

古市憲寿

今年も後約3ヶ月。
進路や成績など様々な事で思い悩みやすいこの時期に私はこの本をおすすめします。
1年の残りをどう過ごすか、若者の働く意味について考えるこの本と一緒に考えてみませんか?



J1C 小村薫子 「ヲカシな建物探訪記」 著:埜々原

こんな世界を、旅したい!
巨大樹の上に広がる集落、雲海を見下ろす小さな小屋、湖の跡につくられた峡谷の国、大空を漂う島の港町...好奇心を刺激する空想世界の26の建物をめぐる絵本のようなイラスト作品群です!
疲れた時とかにみているだけでほっこりできま